Figure

# AIのデータ戦略と「AGIの萌芽」の実体分析



## コイン投入型の事前学習モデル



## 週810万ドルのデータ収集投資

一般投稿アプリ「Index」を通じ
毎秒81分規模の人間作業動画を集積

事前学習により未収集の環境での家事完遂率が9%から56%へ大幅向上

## 56% 成功率（未知の30家屋で）



現場ごとの個別調整を避け、データと計算資源の投入による汎化を追求

## ヒューマノイド主要企業のデータ収集方針と事業アプローチの差異

| 企業名 | 主なアプローチと特徴 | データ収集戦略の相違 |
|---|---|---|
| Figure AI | 垂直統合＋大量一人称動画事前学習 | ギグアプリで一般人の作業動画を大規模収集 |
| Tesla | 垂直統合＋自社工場での量産先行 | 自社工場への配備と量産規模で先行 |
| 1X | 家庭向けモデル＋遠隔操作学習 | 熟練者の遠隔操作モードで家庭内データを蓄積 |

## 技術的限界と日本企業への戦略的示唆



### 視覚動画に欠ける力覚・触覚

人間の動画には関節状態や力覚データがなく身体の隔たりが課題



### オープン・クローズの二極戦略

ハードと制御は特許で固め、学習データとレシピは営業秘密として保護



### 日本企業の現場データ防衛

貴重な製造データを守り、高精度減速機や触覚センサーで差別化を図る

Gemini Notebook